VOL.10

麻につるる

リネンの花　photo by CBLFTA.

日本麻紡績協会
ASABO / Japan Linen, Ramie & Jute Spinners' Association

麻につつる

目次

・業界レポート	2020-2021 年リネン（亜麻）事情	・・・	2
	2020-2021 年ラミー（苧麻）事情	・・・	3
・技術レポート	株式会社 大長	・・・	5
・会員企業紹介（五十音順）	青葉株式会社	・・・	7
	有限会社金丸整理工業	・・・	8
	昆山東蘇克紡織有限公司	・・・	9
	島村メリヤス株式会社	・・・	10
	株式会社 三﨑	・・・	11
	山甚物産株式会社	・・・	12
・COVID-19 状況下の欧州リネン事情		・・・	13
・COVID-19 状況下の中国リネン実情		・・・	14
・日本麻紡績協会の現況		・・・	15
・会員企業一覧		・・・	16

業界レポート

2020-2021 年リネン（亜麻）事情

ヨーロッパにおけるフラックス生産の推移

	2016	2017	2018	2019	2020	2021
作付面積（Ha）	106,978	117,483	124,092	139,610	170,000	120,000（予想）
原料生産数量（ｔ）	137,192	146,065	142,793	182,456	150,000	未定
原料価格 €/kg	2.98	3.0	3.5	3.5	3.0	未定

1. ヨーロッパリネン原料状況

2020 年度欧州主要リネン栽培三か国（ベルギー、オランダー、フランス）のフラックス作付面積は過去最大になったものの、天候不順による原料不作及びコロナ禍の影響により、予測より 30% ダウンした。加えて、原料収穫歩留まりが悪化、出来高 500kg/ha 以下が多く、一部採算が取れないため、収穫せずに畑で焼却処分などが行われた。

メイン番手用原料（24Nm-28Nm）はわずか 60,000 トンの収穫となった。細番手用原料は引き続き不足している。

２. 中国リネン事情

2020 年度リネン潤紡績、全国平均稼働率 50% 未満、コロナ禍での需要減により、糸の値下げを余儀なくされた。2021 年２月、中国春節後、各リネン潤紡績工場は全体約 60 万錘でのフル稼働。世界中コロナ後の高需要を見据えて、糸の値上げが続き、過去最高値になっている。欧州原料価格の高騰により、中国紡績工場の収益は圧迫され、更なる値上げに要注意である。

３. 2020-2021 年 中国麻紡織行業協会動向

① 2020 年 9 月 25-27 日 上海インターテキスタイル秋冬素材展示会開催
② 2020 年 10 月 30 日 中国江西省第七回麻紡績国際フォーラム、江西省新余市で開催
③ 2021 年 3 月 17-19 日 上海インターテキスタイル春夏素材展示会開催

業界レポート

2020-2021 年ラミー（苧麻）事情

1. ラミーの栽培状況について

2020 年は中国の原草価格が記録的に高騰した前年とほぼ同様の水準で推移し、原料･糸･テキスタイルと販売品目全般にアゲインストの状態が続いた。また予想もしていなかった外部環境の変化によりマーケット全体が縮小し、苦戦を強いられた企業が多数を占める事となった。そのような状況の中、ラミー栽培に関しては、地方政府の協力等の影響で、新たな栽培を行うところが現れ、若干ではあるものの栽培面積が増えたとの報告が上がっている。

現在ラミー栽培は、伝統的産業の位置づけを確保し、様々な政策的支援を受けつつあり、一部では積極的に栽培面積を増やしている動きもある。しかし、多くの地域で農民の高齢化等が進み、課題である機械化も進んでおらず、農作物としての地位を再び確立できるようになるまでの道のりは遠い。また、価格面では高止まり状態が続いている為、ラミー100％の汎用品を安心して生産販売できる水準には至っていない。

２. ラミーの栽培面積及び生産量について（推定）

栽培面積は約 7 万畝（4,670Ha）前後と推測され､昨年より約 5 千畝増加したと思われる。その主要産地は四川省で約 5 万畝〈3,333Ha〉と全体の約 7 割を占める。その他の産地としては湖南省・湖北省・江西省が 1.5 から 2 万畝。他は安徽省や広西壮族自治区等の伝統的栽培地で、伝統的な手工芸品用に少量の栽培がおこなわれている。

2020 年度の生産量は約 10,000t。そのうち四川省では約 8,000t、その他の地域で約 2000t となっている。但し、市中在庫は潤沢とは言えず、原料不足の状況は続いている。

３. 原草価格について

原草価格は 2016 年から上がり始め、特に 2018 年と 2019 年は異常なほど高騰した。
2020 年の新原料が出回ったところで緩やかに下降し始めたが､期待通りの出来高に達せず、再び価格上昇の状態に戻りつつある。但し、ようやく農家の生産意欲が向上し、作付面積とそれに伴う出来高の増加が見込める状況となり、価格ダウンへの期待感は大きい。

４. 2021 年の見通しについて

上述の通りラミービジネスは若干明るい状況になりつつあると同時に新たな課題と向き合いつつある。ラミー栽培に関しては地方政府､業界団体､主要生産企業が後押ししており、農家にとって積極的に栽培を再開する環境が整いつつある。反面、農民の高齢化と後継者不足が目立つようになっており、労働力不足が大きな課題となっている。

いずれにせよここ 1-2 年増加している栽培面積と生産量の更なる伸びを期待し、市場回復に向けての前進に期待したい。

亜麻・苧麻統計表

（単位：千円）

品目	輸入糸					
	亜麻糸		苧麻糸		計	
平成年(1～12月)	数量（t）	金額	数量（t）	金額	数量（t）	金額
平成 20 年	972	1,078,211	271	240,994	1,243	1,319,205
平成 21 年	805	752,842	247	198,107	1,052	950,949
平成 22 年	903	762,908	298	249,500	1,201	1,012,408
平成 23 年	1,315	1,243,565	338	269,174	1,653	1,512,739
平成 24 年	1,172	1,099,260	262	232,549	1,434	1,331,809
平成 25 年	1,574	1,730,654	294	327,287	1,868	2,057,941
平成 26 年	1,452	1,826,471	315	380,177	1,767	2,206,648
平成 27 年	1,512	2,149,292	307	448,620	1,819	2,597,912
平成 28 年	1,178	1,410,512	215	278,070	1,393	1,688,582
平成 29 年	1,294	1,490,800	220	299,854	1,514	1,790,654
平成 30 年	1,382	1,737,013	225	360,732	1,607	2,097,745
令和元年	1,315	1,751,145	163	272,176	1,478	2,023,321
令和 2 年	652	809,137	78	151,478	730	960,615

（注）財務省日本貿易統計による。

（単位：千円）

品目	輸入織物						輸入ハンカチ	
	亜麻織物		苧麻織物		計		亜麻・苧麻ハンカチ	
平成年(1～12月)	数量（千㎡）	金額	数量（千㎡）	金額	数量（千㎡）	金額	数量(千枚)	金額
平成 20 年	7,858	2,569,593	1,053	234,836	8,911	2,804,429	179	71,865
平成 21 年	6,224	1,769,982	995	275,402	7,219	2,045,384	331	62,549
平成 22 年	6,244	1,827,638	618	178,334	6,862	2,005,972	219	32,372
平成 23 年	6,954	2,351,660	928	247,210	7,882	2,598,870	114	25,943
平成 24 年	6,702	2,330,368	646	204,931	7,348	2,535,299	124	36,842
平成 25 年	7,134	2,878,201	717	239,543	7,851	3,117,744	81	40,658
平成 26 年	7,365	3,236,254	687	274,121	8,052	3,510,375	85	44,298
平成 27 年	6,822	3,258,646	796	289,496	7,618	3,548,142	87	38,013
平成 28 年	7,642	3,037,204	640	219,255	8,282	3,256,459	83	32,654
平成 29 年	7,624	3,019,338	605	212,452	8,229	3,231,790	86	36,624
平成 30 年	7,609	3,289,511	674	269,854	8,283	3,559,365	61	29,381
令和元年	7,683	3,248,368	426	184,789	8,109	3,433,157	57	26,299
令和 2 年	6,347	2,345,238	383	175,882	6,730	2,521,120	76	23,444

（注）財務省日本貿易統計による。

技術レポート

「サスティナブルな社会の実現に向けて大長の取組」
～生地のリサイクル～

株式会社 大長
代表取締役　大橋富美夫

SDGs が国連で採択され、世界中の人々がエコ・地球環境の保護を意識し始めました。企業活動においても、サスティナブルな社会の実現を経営目標にし、事業機会と捉える動きが活発になっています。

大長では、資源の有効活用、リサイクル、リユースに焦点を絞り、以下の加工開発ならびに活動を行っています。

①在庫反の再加工・再利用

最近テレビ等でも報道されておりましたが、日本での服の廃棄量は年間１５億着にも及ぶとも言われ、フードロスとともに大きな社会問題となっております。この膨大な服の廃棄問題に着目して新しい取組みができないかと考えたのが「リユース生地」による商品開発です。

大長では約二十年前から加工の履歴をデータ化して保存しており、社内で加工したものはすべてどんな加工工程を通りどんな薬剤を使用しているのか明確に記録としております。

また仕上工程に使用する薬剤の９０％近くが水に溶け易い物を使用しておりますので、再染色、再加工が容易にできます。

この２つの利点を生かし、大長で加工した反物のうち再加工可能なものにはリユースマーク（下図）を付け、再利用可能であることを明示し、在庫反で残ってしまった場合、反物の再染色や更なる付加価値を付ける新しい商品開発が可能であることを、広く周知していきたいと考えております。

リユースマーク

②廃棄物の再利用

大長では年間約６００万ｍの生地加工を行っています。そのうち生地のつなぎ目等でどうしても産業廃棄物として処分しなければならない部分が全体の 0.1％強あると思われます。そのゴミとして処分されるだけの生地を集め、再度「わた」にして更に糸にする開発を進めています。現在はリネン 100％の生地に絞り、糸の生産まで開発が進んでおります。

ゴミとして処分される生地

廃棄物を再利用した糸

リサイクルリネン糸としての販売、また、織物・セーター、更に製品までの開発を行っていきます。

現在の紡績糸はリサイクルリネン 50％オーガニックコットン 50％の混綿ですが、リサイクルリネン 100％を目指して進めております。

③抗菌・抗ウィルス加工の開発

現在世界中で新型コロナウィルスのパンデミックにより医療体制、経済活動に深刻なダメージが発生しております。今後もグローバル化による人の動き、人口の増加により 10 年に１度はこのような事態になることは避けられないのではないかと思います。

大長においても人々が安心して着用できる服地の開発を進めており、薬品メーカーと共同して抗菌・抗ウィルス加工の開発を行っております。

抗菌加工についてはすでに抗菌性のデータも整い加工可能な状態でありますが、抗ウィルス性については更に高度な技術力が要求され特に耐洗濯性については現在満足できる数値が得られておりません。今後も抗ウィルス加工については開発を進め確立したものとしていきたいと思います。

2050 年には温室効果ガスの排出をゼロとする目標を日本政府が発表し、これからますます企業価値・存続可能かどうかの判断材料となると思われます。

サスティナブルな活動が重要視される中、大長も単なる天然繊維を多く扱う「エコ的な加工場」としてだけでなく、積極的にエコを推進していく企業としてリサイクルを柱に開発を進めていきたいと思っております。

会員企業紹介（五十音順）

青葉株式会社

代表取締役社長　阿部 壽

遠州地方は、古くから綿織物の産地で、かつては多くの繊維関連企業があり、隆盛を極めておりましたが、時代の移り変わりとともに徐々に衰退の一途をたどってゆく中、弊社の先代は、遠州では先駆者的に麻織物を手掛け、日々試行錯誤を重ね続けて早50余年が過ぎました。私ども先代の意思を引き継ぎ、これからも麻という繊維を愛し、格闘しながらより魅力のある織物を作り出すようたゆまぬ努力を続けていきたいと思っております。

《会社概要》
業　種　　織物産元
設　立　　1964年12月
資本金　　1,000万円
住　所　　〒430-0911　静岡県浜松市中区新津町94番地の1
連絡先　　TEL053-464-9111　FAX053-465-1203

会員企業紹介

有限会社金丸整理工業

代表取締役　鈴木 雅博

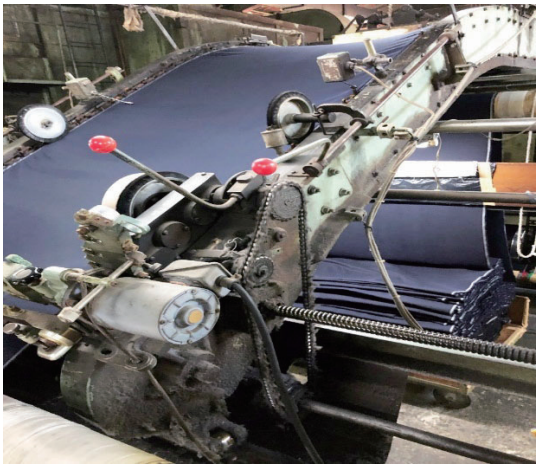
当社は昭和 28 年より新潟県見附市の機屋（当時 85 軒）中心に織物加工業を営み始めました。現在県内産地の生産が縮小する中、独特の加工技術を使い個性ある加工を表現する方が良いと考え、大量生産より特殊な加工機を使いこなした加工開発にウエイトを置き、織物加工も多種類、小ロット化を進めオリジナル、ハイクオリティ化を目指してきました。

近年では、県外産地はもとより商社、紡績からの依頼も多くなりました。　麻織物の加工ついては、常温でも水圧、空気圧の高圧領域での揉み叩き加工が可能な加工機（エアーサーキュラー AJ1）を駆使し、リネンを超ソフトにする加工が注目されています。（高圧領域でのもみ叩き効果は常圧での 3 倍とも 4 倍言われています。）

また、大直径のドラムワッシャー機（ニドム OPS-86）を使ったリネンの酵素処理も長年にわたって多くの加工依頼が寄せられております。

＜会社概要＞
住所　　〒 954-0053　新潟県見附市本町 4 丁目 3 番 48 号
連絡先　TEL　0258-62-2031　FAX　0258-63-3451
　　E-mail　kanemaru@basil.ocn.ne.jp
創業　　昭和 28 年
資本金　1,000 万円

事業内容　麻、綿を中心として織物の特殊加工



会員企業紹介

昆山東蘇克紡織有限公司

総経理　齊藤 誠

当社はトスコグループの中国の基点として1994年に設立、ラミーの紡績を中心に事業をスタートしました。ラミー原料最大の供給源である中国で、地元のメリットを活かし、良質な原料の手配から糸になるまでの一貫した生産体制を整えております。またリネンにつきましてもフランスの原料商とパートナー契約を結び中国の協力工場にてOEM生産を行っており、原料から糸に至るまで徹底した品質管理を行なっております。

更にトスコオーガニックプロジェクトでは、その中核として栽培地の管理から認証の取得作業、そして原料から原糸生産まで深く携わっています。

尚、物作りの理念として環境への配慮からISO14001の認証を受けると共に、生産面ではISO9001の認証を受け品質管理には特に注力しております。

また、当社はトスコグループの主力生産工場として、さらには日本と中国の企業と人が友好的な協力関係を築いていけるよう、今後とも貢献していきたいと思っております。

＜会社概要＞
名称　昆山東蘇克紡織有限公司
場所　中国江蘇省昆山市
設立　1994年12月
業種　麻を主体とした繊維製品の製造、加工、販売

会員企業紹介

島村メリヤス株式会社

代表取締役社長　島村 育男

当社は昭和 48 年（1973 年）の創業以来丸編みニット生地を生産し、技術と経験を活かし、ラミー 100%、リネン 100%を中心に生地を生産しております。

また麻だけでなく天然素材にこだわりを持ち、同様に丸編みニットの特徴が活かせる生地提案を行っております。

今後とも天然素材の良さを皆様に伝えていけるよう努力してまいります。

《会社概要》

住　所　　〒 639-2202　奈良県御所市大字出屋敷 1702-2
連絡先　　TEL0745-62-0405　FAX0745-65-1685
業　種　　丸編みニット　製造業
設　立　　1973 年
資本金　　1,000 万円

会員企業紹介

株式会社 三﨑

代表取締役　鈴木 秀典

株式会社三﨑は昭和 56 年 7 月に創業いたしまして、おかげさまで今年 40 周年を迎えることができました。これもひとえにお取引先皆様のご協力とご愛顧の賜物です。この場をおかりしまして厚く御礼申し上げます。

弊社におきましては、衣料用繊維製品、ゴム皮革製品、防災用品等を、官公庁を中心に製造及び販売いたしております。

今後におきましても、これまでに培ってきた信用と信頼関係を大切にし、皆様に喜んで頂ける会社を目指して参ります。

＜会社概要＞
商号　株式会社三﨑
設立　昭和 56 年 7 月 27 日
代表者　代表取締役社長　鈴木　秀典
資本金　1,000 万円
所在地　〒 173-0024　東京都板橋区大山金井町 38 番 5 号
電　話　03-3554-1161（代表）
F A X　03-3554-1315

主要営業品目
① 作業服・事務服・防寒衣・制服・白衣・医務服・帽子・手袋その他
② 革靴・ゴム長靴・運動靴・安全靴その他
③ ヘルメット・安全帯・防塵マスクその他防災用品各種

会員企業紹介

山甚物産株式会社

代表取締役　山本 多加生

山甚物産は現・福井県越前市において蚊帳製造を開始した文久元年（1861）10 月を創業とし、今年 2021 年 10 月に創業 160 年を迎えます。

当時から蚊帳をはじめとした繊維製品を製造してまいりましたが、現在は寝具、リネン製品等の繊維製品に留まらず、消防機材、医療・防災・災害関連資材まで事業領域を拡げ、「社業を通して、広くお客様と社会に貢献し、変化する時代の中で発展し続ける企業を目指すと同時に、社員の成長と家族の幸福を追求する」を経営理念に発展を目指しております。

これからも経営理念を通じて、独自性のある提案、企画をしてまいります。

＜会社概要＞
称号　　山甚物産株式会社
創業　　1861 年（文久元年）
設立　　1919 年（大正 8 年）
資本金　4,000 万円

事業内容
■ホテル・病院向け業務用寝具及びリネン資材・繊維製品の企画・開発・製造・販売
■寝具・寝装品・繊維製品・健康寝具の企画・開発・製造・販売
■官公庁向け繊維製品・消防、警備器材・包装資材の企画・開発・製造・販売
■ホテル・商業施設におけるＦＦＥ全般の企画・調達・制作・施工
■テナント賃貸・不動産賃貸全般（貸地・貸家・駐車場等）

事業所　東京本社　東京都千代田区神田小川町１－１
　　大阪本社　大阪府大阪市中央区本町１－５－６

山甚商店の法被

武者印蚊帳

明治 41 年頃の幸町総社通り営業店舗

COVID-19 状況下の欧州リネン事情

Marie-Emmanuelle BELZUNG
CELC 運営統括責任者

フランス並びにヨーロッパの COVID19 はまだ大変厳しく複雑な状況を呈しています。フランスでは再びロックダウンとなり、生活必需品以外の商店は閉店を余儀なくされています。

そのような中で CELC のリネンプロモーションキャンペーンは５月に延期され、完全デジタル・イベントにて開催されます。

リネン産業がいかにグローバルであるかを開示していくために、日本のＡＳＡＢＯとコラボレーションすることは素晴らしいことと思っています。

CELC は未来のリネンの製品市場に自信を持っています。この周期的で非構造的な危機の後、私たちのグローバルな農業創造産業は強化されるでしょう。
間違いなく、この持続可能な繊維の驚くべき特性は、消費者にますます高く評価される事となり将来は明るいと思っています。

この異常な状況の中ですが、最善を尽くしていきたいと思っています。

以上

Here in France and in Europe the COVID situation is still very complex. France is again confined and the “non essential shop” shops are all closed. The Linen promotion campaign is postpone to May.
Still CELC is now working on a 100% digital event. As we want to show how global is the linen industry. it would be great to involve our Japanese partners and fiends.
We try to do our best under the special circumstance.
CELC is very confident for the Linen final market, in the near future and long term.
Our global agro-creative industry will be reinforced after this cyclical and non-structural crisis. With no doubt the remarkable properties of our sustainable fibre will be more and more appreciated by final consumers. Future is bright.

COVID-19 状況下の中国リネン実情

中国麻紡織行業協会 会長　董 春興

昨年 COVID-19 パンデミック発生。中国政府はいち早く蔓延を抑え、2020 年下半期から基本的に通常の状態に戻り、国内の生産活動、国民の生活などは回復、現在はコロナ前の状況まで完全に戻ってきている。中国リネン業界としては、上半期が国内販売中心、下半期は輸出中心の状況である。

中国国内販売は 2021 年に入り、リネン市場は活気が溢れ、貿易数量も増加してきていたが、欧州原料の大幅な値上がり影響により、国内亜麻糸、亜麻生地のコストが上昇。この上昇幅や価格変動幅が予測をかなり超えており、各企業の業績を圧迫している。2021 年 3 月に開催された上海インターテキスタイル素材展によると、中国内販は例年同様変わらず、大きな変化は見られない。

輸出については糸、織物は徐々に回復中であるが、ピークは年末に向けて下半期に集中するため、2021 輸出数量は 7 月からの受注状況に左右される模様である。

問題点：

① 世界各国は COVID-19 に対しコントロールの歩調が一致せず、世界中を完全に抑えるまで時間がかかる。当然通常のビジネスにはマイナス影響をもたらす。

② 国際貿易はまだ正常に戻らない。コンテナ不足や海上運賃上昇で物流の流れが順調ではないとの認識。

③ リネン原料の値上げ幅が大きすぎる。欧州原料の出荷量は発注数量の 50% 以下に止まり、原料不足は市場に緊張感を与えている。

インターテキスタイル上海展　2021 年 3 月

日本麻紡績協会の現況

令和３年５月

1. 現況

・当協会は、1952 年（昭和 27 年）５月１日、リネン（亜麻）、ラミー（苧麻）等の麻紡績業者によって設立された全国組織の団体です。2009 年（平成 21 年）５月に従来の協会組織を抜本的に改組、再編し、12 年目を迎えました。現在会員数が 108 社１協同組合で構成されており、紡績、商社、各生産会社（撚糸、織、染色･加工、縫製）や企画、小売に至る、川上から川下まで麻に関る全ての業種に会員が拡大しております。引き続き会員相互の親睦を図るとともに、業界全体の発展を目指しています。

2. 市況

・昨年１月以来のコロナ禍（COVID-19）による未曽有の不況に見舞われ、国内アパレル業界等を中心に非常に厳しい市場環境となっております。 テキスタイル素材の中では、リネンを中心とした麻素材は SDGs のエコロジー素材として、厳しい状況のなかでも比較的に健闘しているといえます。

・地球環境を意識した「サスティナブル素材」として麻素材そのものと同様に、ASABO（日本麻紡績協会）の役割･存在感、求心力も年々高くなってきております。

3. 国際性

・会員数１万社を誇る 欧州麻連盟（CELC）や 中国麻紡織行業協会（会員数 300 社）等との連携も年々強くなり、グローバルな業界発展に貢献しております。
・昨年は新型コロナの影響で、すべての国内外イベントが中止となり、国際交流はネット上での情報交換しかできなかったのが実情です。
・中国麻紡織行業協会では
　① 2020 年９月 25-27 日　上海インターテキスタイル秋冬素材展示会
　②「2020 第七回江西国際麻博覧会」
　③ 2021 年３月 17-19 日　上海インターテキスタイル春夏素材展示会
　などが開催されました。

4. 令和３年度　定例行事等

(1)	令和３年１月 13 日	年賀交歓会	開催中止とさせていただきました。
(2)	令和３年５月 13 日	理事会・総会	開催中止とさせていただきました。
(3)	令和４年１月 12 日	年賀交換会	開催を予定しております。

以上

日本麻紡績協会 108 社、1 協同組合（五十音順）

ア 青葉株式会社
株式会社 AKAI
株式会社アクシス
浅記株式会社
朝日加工株式会社
旭紡績株式会社
アトモスフェール・ジャポン株式会社
株式会社アマックスコーポレーション
株式会社 ANTS JAPAN
アンドー株式会社
今村株式会社
岩田工房
栄光染色株式会社
越前屋多崎株式会社
エップヤーン有限会社
株式会社エヌ・ビー・アール
近江織物株式会社
株式会社大志茂
オオハシセンイ
大森撚糸株式会社
小千谷織物同業協同組合
カ カネマサ莫大小株式会社
有限会社金丸整理工業
甲株式会社
有限会社川登
株式会社カンセン
株式会社関東小池
菊高産業株式会社
岐セン株式会社
株式会社北国生活社
株式会社キョウワソーイング
株式会社金原
グロリア株式会社
桑村繊維株式会社
ＫＢツヅキ株式会社
株式会社ケンランド
江東製織株式会社
興和株式会社
有限会社小啓修整織物
サ サイボー株式会社
澤染工有限会社
株式会社三幸
株式会社三幸ソーイング
株式会社三和リネン
有限会社シービープランニング
滋賀麻工業株式会社
信友株式会社
島村メリヤス株式会社
株式会社ジャスカ
聖天株式会社
新成物産株式会社
新陽株式会社
鈴木晒整理株式会社
有限会社鈴由商店
装研株式会社
タ 株式会社ダイイチ
大恒株式会社
株式会社大長
株式会社タグチ
株式会社武田商店
株式会社タケミクロス
タッカ株式会社
辰野株式会社
田村駒株式会社
蝶理株式会社
帝国繊維株式会社
有限会社テキスタイルベガ
株式会社テザック
東興産業株式会社
東洋繊維株式会社
東洋物産株式会社
東和株式会社
株式会社トーホーユニ
トスコ株式会社
殿岡服飾工業株式会社
豊川テキスタイル株式会社
豊田株式会社
ナ 中伝毛織株式会社
中村株式会社
有限会社ナカモリ
西本株式会社
西山繊維株式会社
日新実業株式会社
ニット技研
ハ ハイランド MP 株式会社
服部テキスタイル株式会社
平岡織染株式会社
株式会社廣瀬商会
廣瀬又一株式会社
藤居織物工場
ブルーミング中西株式会社
株式会社穂高商事
マ 株式会社麻絲商会
丸佐株式会社
丸進工業株式会社
株式会社丸萬
三重ユニフォーム株式会社
株式会社三崎
ミマス株式会社
未来テクノ株式会社
株式会社武蔵富装
株式会社むつ縫製
森菊株式会社
森保染色株式会社
ヤ 山甚物産株式会社
株式会社ユニウェル
ラ 有限会社リネット
リネンハウス株式会社
ワ 株式会社ワールドプロダクションパートナーズ

MEMO

日本麻紡績協会

〒 103-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-1-10
TEL 03-3668-4641
FAX 03-3668-4642
Email jp-asabo@cb.wakwak.com
URL http://www.asabo.jp/

令和 3 年 5 月 13 日発行

本誌表題について

「麻につるる」は、ことわざ「麻につるる蓮（よもぎ）」に由来しています。
ことわざの意味は、「曲がって生えやすい蓬でも、真っ直ぐに生える麻の中で育てば、曲がることなく自ずと伸びる」ということです。
転じて、善良な人々に交われば、殊更に教育をしなくとも自然に善良な人に育つ、という意味に用いられます。
日本麻紡績協会におきましても、麻に携わることを生業（なりわい）としている我々は、このビジネスに打ち込んでいる、それだけで真っ直ぐなどビジネス人生を描いて、成長していくことができる、そういう想いと願いを込めて、当協会誌のタイトルといたしました。

The team of TERRE DE LIN wishes you a happy life 2021.

日本麻紡績協会

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-1-10
TEL: 03-3668-4641
FAX: 03-3668-4642
Email: jp-asabo@cb.wakwak.com
URL: http://www.asabo.jp/